

あそか

平成 30 年 2 月 28 日発行 第 3 号
〒501-1131 岐阜市黒野 404-1
社会福祉法人岐阜龍谷会 黒野あそか苑
特別養護老人ホーム・ショートステイ
デイサービスセンター・ケアハウス
TEL(058)234-2376
FAX(058)234-2377
ケアプランセンターあそか
TEL(058)234-0303



半年ぶりに会う生徒さん達は、大変明るく優しい眼差しで、入居者様に接していただきました。
お花が少ない時期でしたが、七種類も用意していただき、お花の名前を教えてもらいながら、素敵なアレンジフラワーが出来上がりました。
最後に自作を手に記念写真を撮り、ご自身の作品に満足の笑顔でした。

岐阜農林高校の生徒さんと交流
〜花を通じて〜

ごあいさつ



新しい年を迎え、二ヶ月が過ぎました。黒野あそか苑の利用者様も清々しい気持ちとなり、凜とした空気の中、一月の行事である年賀・初詣・書初め・正月遊び・七草粥・鏡開き・左義長等、楽しく日々を過ごされており、笑い声が絶えない日々を送っております。

昨年一年間の日本は、隣国のミサイル・核の脅威や、自然災害の恐ろしさに身を縮ませた年でした。九州北部豪雨・夏から秋にかけての長雨・日照不足・例年に増した台風の日本列島縦断等がありました。こうした影響で、農作物や果実に大きな被害を被り、葉物を中心とした野菜や、秋の味覚である梨・りんご、冬の楽しみであるみかん等が高騰しました。

又、日本近海を流れる海流の変化による漁獲物の不漁等、私たちの台所を直撃したことは記憶に新しいところであり、景気の回復を実感できない暮らしたりました。

こうしたことから、平成三十年は明るく一つでも良いことが多くなることを願っており、その第一歩として二月開幕の『平昌冬季オリンピック』での、日本選手団の大活躍により、日本中が歓喜に沸きかえりました。

最後になりましたが、黒野あそか苑を利用されている方々が、今年も健康で明るく元気にお過ごしただけのよう、職員一同福祉サービスの向上に努力してまいりますので、利用者様のご家族・地域の皆様のご協力・ご支援をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

施設長

特養本館 クリスマス

プレゼント

今年はおそか苑にサンタクロースがやってきました。食堂に突然現れたサンタクロースを見て、

「あれ、今日は…クリスマスかね？」

と、一人の利用者様の声。それを聞いて周りの利用者様もニコリ歓迎。



プレゼントを運んできましたよ



サンタクロースからプレゼントを受け取り、袋を開けてみると、中にはひざ掛けや靴下など、心も体もあたたまる贈り物が入っていました。嬉しそうに抱え込んでおられる姿を見て私達職員も嬉しくなりました。



デイ お正月遊び・お抹茶

お正月遊びのこま回しでは、「子供の頃はよく喧嘩こまをやったなあ。」

「もつと重いこまだったよ。」とお手本を見せてくださり、子供の頃の話が尽きませんでした。

お抹茶では、慣れた手つきでお点前を披露してくださった方もみえ、皆さんで和菓子と一緒に召し上がっていただきました。



特養新館 初詣・初笑い

大変寒い中でしたが、苑の近くの多賀神社に初詣にでかけ、

「今年も良い年になりますように。」

と皆さんでお参りしました。苑内では目隠しをして福笑いに挑戦。職員や他の利用者様の声を頼りに、顔のパーツを置き完成！出来上がりを見て、「なんだこれ〜！」

と大笑いでした。書初めは思い思いの言葉を書いていただき、有意義なお正月となりました。



特養本館 節分・鬼登場

二月三日節分。赤鬼と青鬼が現れました！

びつくりする利用者様、大笑いする利用者様、皆さん豆を投げ鬼退治しました。豆まきが終わったら、一年の厄除けを願い、自分の年齢よりも一つ多く豆を食べると言われていますが、ご長寿の利用者様は数が多すぎてとても食べられません(笑)

今年も皆さんに福が来ますように、職員一同願っています。



ケア 豆まきと恵方巻き

「鬼は〜外！福は〜内！」今年の「年男」である入居者様の元気な掛け声で、他の入居者様も全員揃ってヘラランダで「鬼は〜外！福は〜内！」

さあ次は、赤鬼と青鬼が出題するクイズに挑戦！答えが分かっているても、「みなさん、よく考えて教えてくださいくださいね。」

と言われると、不思議なほど間違えてしまい、みんなできと笑い、手作りの恵方巻きを大変美味しく召し上がっていただけました。



特養新館 毎月のお楽しみ

今年度は、毎月昼食作りを楽しんでいたけど、すき焼きやたこ焼き、煮込みラーメンなどを利用者様と一緒に作りました。



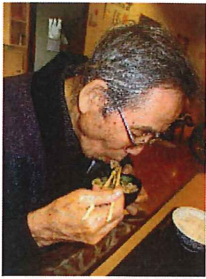
利用者様にとって普段食べる機会の少ないものだったため、

「今日はごちそうやねえ。」

「こんな美味しいものあるんやね。」

と大変喜ばれ、いつも以上に箸がすすんでおられました。

来年度も皆さんに喜んでいただけるような行事をしていきたいと思っております。



ケアハウス 忘年会2017

楽しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと・・・一年の思い出を語り合いながら、自分たちでできる鍋、すき焼きをつついて身も心も温まっていたきました。いいお味に仕上がったようで、話は弾み、自然と箸もすすみます。



「来年もどうか良い年でありますように」と願いました。

ケアハウス 新しい年を迎えて

一月一日、清々しい朝で始まった平成三十年。お雑煮、おせち料理にお屠蘇で、新年のお祝いをしました。

平均年齢八十五、三三歳の皆さんは、まだまだ若くてお元気です。お正月は、鏡開きでござい、新年会でお寿司を召しあがっていただき、今年もますますお元気に過ごされることと思います。



2018



あとがき

平成三十年が始まり、あつという間に二ヶ月が過ぎました。立春が過ぎてはまだ朝晩の寒さは緩まず、あたたかい春が待ち遠しく感じます。

今年も広報を通して、利用者様の様子や、素敵な笑顔をお伝えしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。